

- 問1 北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。
 - 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。
 - 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。
 - 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。
- 問2 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 - 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いため、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。
 - 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 - 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
- 問3 ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること
 - 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備
 - 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること
 - 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
- 問4 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
 - 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。
 - 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
 - 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
- 問5 北海道の農業産出額の構成を示したデータでは、乳用牛や肉用牛といった「畜産」が51.7%を占め、全国平均の31.4%を大きく上回っています。北海道において、このように畜産が盛んになった背景や理由として最も適切な説明はどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
- 夏の高温多湿な気候を活かし、広大な土地で年に二度、米を収穫する二期作が行われたため。
 - 山がちで複雑な地形を活かし、小規模な土地で果樹栽培と畜産を組み合わせた多角経営を推進したため。
 - 大消費地である東京周辺への輸送距離が非常に短く、新鮮な食肉や牛乳を即座に届けられる有利な立地であったため。
 - 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。
- 問6 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
 - 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である
 - 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
 - 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
- 問7 北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
- 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。
 - 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。
 - 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。
 - もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。
- 問8 北海道の北東側に位置する海域では、冬季になるとシベリア沿岸から流れてきた氷が接岸し、一面が白く覆われる光景が見られます。この海域の名称と、押し寄せる氷の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- オホーツク海 — 樹氷
 - 太平洋 — 樹氷
 - 日本海 — 流氷
 - オホーツク海 — 流氷
- 問9 北海道の太平洋側に夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 島根県公立入試 類似）
- 黒潮
 - 親潮
 - 対馬海流
 - 日本海流
- 問10 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- 熱帯
 - 冷帯（亜寒帯）
 - 乾燥帯
 - 温帯
- 問11 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。
 - 先住民族であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。
 - 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。
 - 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。
- 問12 北海道のオホーツク海沿岸に押し寄せる流氷に関する説明として、漁業への影響という観点から最も適切な記述はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 海面を覆うことで水温の低下を防ぎ、魚の活動を活発にする
 - 氷が海底を削ることで、コンブなどの海藻類が育ちやすい環境を作る
 - 寒流である親潮の流れを強め、サケやマスの回遊を妨げる
 - 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする